



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

北海道支部

赤十字 ほっかいどう

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。



表紙：スタディー・センターでの一コマ
限られた道具を使い制限時間内にみんなで協力してより多くのものを所定の場所へ運ぶプログラムです。コミュニケーション能力を育みます。

赤十字の活動資金へご協力をお願いいたします

CONTENTS

9つの赤十字事業	2～3
赤十字活動資金の使い道	4～5
青少年赤十字について	6～7
わが町の赤十字奉仕団 一札幌市ダンスライフ赤十字奉仕団一	8

活動の財源はみなさまからの寄付です

5月1日は日本赤十字社の前身である博愛社の創立記念日、5月8日はこのことから日本赤十字社では毎年5月を「赤十字運動月間」として多くお願いしています。

日本赤十字社は国や行政の機関と誤解されがちですが、日本赤十字社法そして、活動の財源は、税金や補助金ではなく、国民・道民のみなさま

赤十字の創始者であるアンリー・デュナン生誕の日です。
のみなさまに活動を広く知っていただき、活動資金へのご協力を

という法律に基づいた認可法人です。
からお寄せいただく寄付に支えられています。

9つの赤十字事業



災害救護

1 災害発生時には医師や看護師からなる医療救護班を派遣するほか、訓練などを通していざという時に備えています。



救急法などの講習

2 AED（自動体外式除細動器）の使い方や高齢者支援に役立つ介護技術など、講習を行っています。



赤十字ボランティア

3 全国で約122万人の赤十字ボランティアによって赤十字活動は支えられています。



青少年赤十字

4 赤十字の理念のもと、子どもたちが自分で「気づき、考え、実行する」力を育んでいます。



国際活動

5 災害や紛争、病気など苦しむ人びとを救うため救援や復興支援、予防活動に取り組めます。

6 医療事業
道内10ヶ所で赤十字病院を運営

7 看護師の養成
道内2ヶ所の看護専門学校（伊達市・浦河町）で看護師を養成

8 社会福祉
小樽市と釧路市で保育所を札幌市で視覚障がい施設を運営

9 血液事業
献血の受付と血液製剤等の安定供給

町内会や自治会を通して寄付をお願いしています

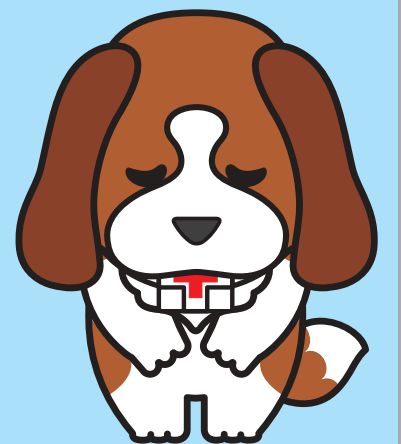
みなさまがお住まいの地域の町内会や自治会を通してご協力をお願いしています。

なお、北洋銀行、北海道銀行、郵便局の窓口から手数料無料で送金できる振替用紙もございます。

さらに、口座振替、クレジットカードからご協力いただくこともできます。

ご協力お願いいたします

日本赤十字社 寄付サイト
https://donate.jrc.or.jp/lp/?utm_source=leaflet



日本赤十字社北海道支部
マスコットキャラクター
アンリー

そうだったのか!! 赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、ここで紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。



ありがとうございます!



平時の備え

災害時に迅速に対応するため、災害救護訓練、資機材の整備、ボランティア育成等を行っています。



災害救護訓練

被災地で迅速に医療救護活動を展開するため様々な災害を想定した訓練を実施。



ボランティア育成

災害時はもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成します。



日頃やっていないことは、いざという時にできない。

皆さまからの
ご寄付 (赤十字
活動資金)



日本赤十字社に
ご寄付が届きます

少しでも体を休めて
いたいたために。



救援物資の配布



被災地での活動

4

被災地へ出発



医療救護班や救援物資は、
陸、海、空、様々な
手段で被災地へ

すばやく!
正確に!



ボランティアと共に
必要な物資を準備

災害発生

日本赤十字社が
総力をあげて対応



全国の赤十字が連携し、
被災地に向けて職員を
派遣する準備をします。

被災地で行う活動 1



医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の
設置や巡回診療を行います。

被災地で行う活動 2



こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残します。少
しでもこころが休まるよう寄り添います。

被災地で行う活動 3



血液製剤の供給

全国の血液センターが連携し、災害時も
必要な血液を安定的に供給します。

地域防災力の向上

地域の自助・共助の力を
高めるため、いのちを守る
知識と技術を伝えるセミ
ナーを実施しています。



子どもたちへの
防災教育

未来を担う子どもたちへ、
自然災害の正しい知識と、
自ら考え生き抜く力を。



今後、発生が予想される
大規模災害に
備えるためにも...

赤十字活動資金に
あたたかいご協力を
お願いします

※義援金は、その全額を被災された方々にお届けしています。

未来へつなげる

過去の災害救護で培った経験を忘れずに、
未来へつないでいきます。



きげん
はっけん!

糸を繋いで
救うことが
大切!

青少年 赤十字 について

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

これらの目的を達成するために、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げています。

また、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。

「健康・安全」

人間の生命はもっとも大事なものです。その生命を守るために、自分の命と健康を大切にするとともに、みんなの健康を守り、人間尊重の精神を養うことを目指します。

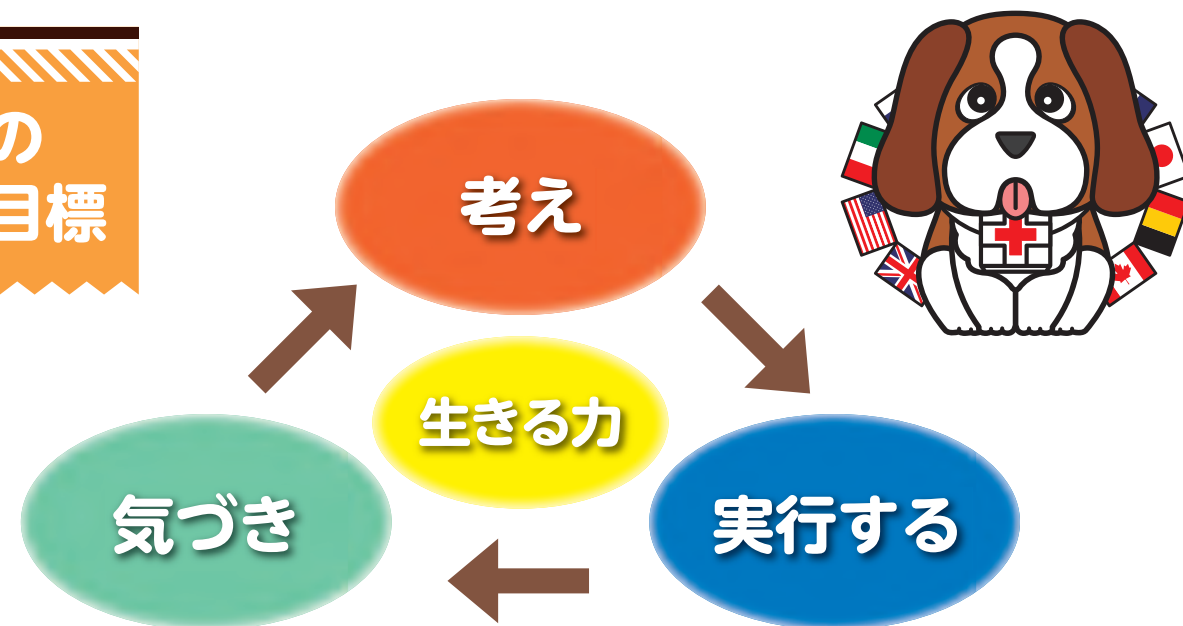
「奉仕」

私たちはたった一人で生きているのではなく、社会の一員として生きています。自分が今、他者のために何ができるかを考え、できることから実行していきます。

「国際理解・親善」

私たちは、いつも世界の国々とのつながりの中で生活しています。外国の人々やその国のことについて正しく理解し、交流を深めることは大変重要なことです。それは自分自身を知ることにもつながります。このような積み重ねが、世界の平和の実現を目指していくことにつながります。

3つの 態度目標



ここでは令和2年1月から2月にかけて開催された青少年赤十字事業をご紹介します。

スタ ン デ ー !

青少年赤十字の特徴のある教育プログラムの一つで、態度目標を身に付けるため毎年、冬季休暇中に3日間にわたり合宿型で行っています。

今回は、「災害時の共助とは何か？」～子どもたちが支援者の立場で出来ることを考える～をテーマに、全道から38名の参加のもと、1月8日～10日に札幌留学生交流センターで開催しました。

プログラムでは「自分たちが出来る共助」についてのグループディスカッションや避難所を想定して子どもたちが支援者の立場で「その時、出来ること」として応急手当の実技などを体験しました。

参加者からは「段ボールベッドの使い方など、学校では学べないことが体験できた」や「38名と絆が深められていい思い出になった」と感想があり災害時に自分たちが出来る活動や自己・他者のいのちを考える大事さを学びました。

段ボールベッドを組み立てる生徒たち▶



赤 十 字 出 前 講 座

2月4日、青少年赤十字加盟校である札幌市立真駒内中学校で防災授業の一環として全校生徒（273名）を対象に行いました。

講座では、はじめに北海道胆振東部地震など大規模災害の事例をみながら、「自助」・「共助」の重要性を学びました。

さらに段ボールベッドづくりや毛布を利用した担架づくりなど体験し、災害時に自分たちができる支援について考えました。

大規模災害の事例を学ぶ生徒▶



青 少 年 赤 十 字 指 導 者 研 修 会

2月14日～15日、教育現場での青少年赤十字の有用性について理解促進を図ることを目的に、全道の教員36名の参加のもと実施しました。

今回は、日本赤十字社北海道ブロック血液センターを会場に施設見学をはじめ、献血推進活動の講演が行われ血液事業について知って頂きました。

また、「地域で守る赤十字防災セミナー」（DIG：防災マップ作り）の体験や地域・学校での防災への取り組み方法についてグループディスカッションしました。

参加者からは、「採血から輸血までのプロセスが理解できた、道德の時間に活用したい」や「DIGは生徒同士が話し合うことで防災への認識向上に繋がることから授業に取り入れたい」という感想も聞かれ赤十字事業の理解を深めることができました。

施設見学の様子▶



わが町の赤十字奉仕団

地域に根ざしたさまざまな活動をしている赤十字奉仕団。
その中からいくつかの奉仕団の取り組みをご紹介します。

札幌市ダンスライフ赤十字奉仕団

札幌市ダンスライフ赤十字奉仕団は、平成 12 年 4 月に結団し、本年創立 20 周年を迎えました。

結団にあたっては、各ダンス団体が認める試験に合格し指導員の資格を取得した人、奉仕団活動に賛同し協力して下さる方々で結団し、結団当初は 26 名でしたが現在は 22 名で活動をしています。

おもな活動としては結団当初から、災害時における被災者支援義援金募集ダンスパーティー、社資募集ダンスパーティー、毎年末に行われる「NHK 海外たすけあい」の支援金募集ダンスパーティーの開催、札幌市視覚障害者福祉協会のダンス教室「ロマン」が開催する市民交流ダンスパーティーの支援等を行っています。

また、本団主催のダンスパーティーの際には参加された方々へ日本赤十字社の大切さを P R させていただいています。

これからも仲間の輪を広げ、団員の技術の向上にも努め、赤十字の信条のもと楽しく活動することをモットーに奉仕団員一同、連帯感をもって奉仕活動を続けていきたいと思っています。

委員長 渡部 和夫

「NHK 海外たすけあい」支援金募集ダンスパーティー▶



たくさんのご協力ありがとうございました。

活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します（敬称略）

金色有功章

砂川市 北洋砂利株式会社

銀色有功章

北見市 有限会社トータル・コンサルティング

社長感謝状

函館市 川崎 昭三

佐藤 ミエ

鷹栖町 西野 耕一郎

（令和元年 11 月～令和 2 年 2 月表彰伝達分）

発行元



日本赤十字社 北海道支部
Japanese Red Cross Society

札幌市中央区北 1 条西 5 丁目
TEL:011-231-7126

発行日

令和 2 年 4 月 1 日



公式 facebook で情報発信中！

<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc/>

日赤北海道



<http://www.hokkaido.jrc.or.jp/>

mud
MEDIA UNIVERSAL DESIGN

この印刷物は北海道印刷企画(株)が
メディア・ユニバーサルデザインに
配慮して制作しています

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、
より多くの人に見やすく読みまちがえにくい
デザインの文字を採用しています。